

# もし、日本が100人の村で 100万円の予算だったら？ 日本村の予算を作ろう！

～出前授業 in 沖縄市立北美小学校～



財務部職員による財政授業の様子



作成した予算案を発表する様子

## 国の財政について

授業の前半は、国の歳入と歳出について、身近な公共サービスである「救急車が出動するときの費用」や「国の借金」など、クイズを交えながら説明を行い、公共サービスに必要な会費を税金や保険料として納めなければならないことや、少子高齢化が進んでいることに関連して医療や介護及び年金などの社会保障費が増え、借金が増加しているなど日本の現状について説明をしました。

財務部では、小中学校、高校向けの出前授業として、タブレット等を活用した予算編集シミュレーションなど、アクティブラーニングを取り入れた「財政教育プログラム」を実施しています。今号では、7月9日、11日及び12日の3日間、沖縄市立北美小学校6年生3クラス（105名）を対象に行った出前授業をご紹介します。

## 予算編集シミュレーション.. 「日本村の予算を作ろう」

その後、「もし、日本が1000人の村で100万円の予算だったら？」と仮定して、グループごとに「高齢者に優しい村」や「教育の充実した村」など、どのような村にしたいかテーマを決めたあと、予算を作ってもらいました。

児童たちは、社会保障費などの歳出は、どの分野を増やして、または減らせばよいか、また、どのような税金でお金を集めるべきかなど、活発に意見を交わしながら予算づくりに取り組んでいました。

グループごとの発表では、「お年玉をたくさんもらえよう、お年寄りに年金をたくさん支払ってほしい」、「体育館や全教室にエアコンを設置できるような学校への予算を増やしてほしいか」、「通学路をきれいにしてほしい。また子育てのためには公園をたくさん作ってほしい」、「儲かっている会社からたくさん税金を集め、消費税は少なくしてほしい」など、国の歳入や歳出について多様な意見がありました。

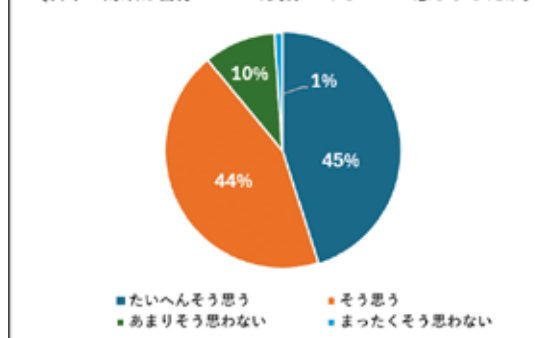
## 児童たちの声

授業終了後の振り返り（アンケート）では、児童たちから、「財政は自分たちには、関係ないことだと思っただけ、大いに関係があることや救急車が出動することにお金がかかることがわかった」、「日本は、国を支え

るためにいろいろな工夫をしていることがわかりました」、「グループで考える時間も楽しかったので、またやりたいです」などの感想がありました。

また、今回の授業は新紙幣発行直後ということもあり、児童たちから講師に対し「新しいお札を持っていますか」、「どこに行けば入手できますか」など、新紙幣に対する関心の高さも見られました。

Q日本の財政は自分にとって関係のあることと感じましたか。



財務部は、今後も教育機関と連携し、児童たちが日本の財政に興味を持つきっかけとなる出張授業を実施していく予定です。

財務部の出前講座については、左記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

財務部 財務課（地域連携担当）  
☎098-866-0091